

# 出雲の治水 韓国に紹介

## 江戸期3偉人の漫画翻訳

松江の財団法人「もつと世界にPR」  
顧問の金さん



出雲地方で治水の偉人といわれる江戸時代の3人を題材にした伝記漫画を韓国に紹介するため、財団法人人間自然科学研究所（松江市）常任顧問の金顯哲（キムヒョンテ）さんが、韓国語版を企画、監修し、韓国で3冊の出版を実現させた。来日した金さんは「もつと世界に知られないといけない」とPRした。

（河野場）

3人は周藤彌兵衛、「日吉切り通し」を完結させた。清原は松江。周藤は日吉村（現松江市八雲町）を意図する。大樋は出雲市の海岸を川の洪水から守るため、岩山を切り開き、開拓した。

原作の3冊は199

4〜2002年に同研究所が出版した。手塚治虫の下で修業した漫画家小室孝太郎氏らが描いており、韓国版でも同じ絵を使っ

た。金さんは約5年前に来日した際に読んで感動し、意字川にも訪れた。韓国に3人の偉業を広めようと、韓国語版を手にして「3人がこのまま埋もれてはいけない」と話す金さん

への翻訳を企画し、ソウルの出版社「語文閣」が5月に出版した。金さんは翻訳の監修も手掛けた。

金さんは韓国の文化放送（MBC）の元副放送局長。7月から同研究所常任顧問としてソウルに駐在している。「関係が悪かった時期もあるが、日韓の子どもたちが親しくなるようにさせたい」と教育現場で使われることを期待している。

漫画はいずれも180〜200ページ程度。1冊9千ウォン（100ウォン＝7・5円程度）。韓国の書店で販売されており、日本では同研究所 050（3161）2490。